

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.68をお届けいたします。



FMD
OWNER'S CLUB



6月のTOPICS

■ 電子タバコも紙巻きタバコ同様に急激な内皮機能障害を引き起こす

JUUL(日本では未販売)のような電子タバコの使用は、特に若者と若い成人の間で増加しています。人気の理由の一つは JUUL のニコチン含有量が他の電子タバコよりも高いことにあるようです。今号では近年使用者も多い電子タバコの内皮機能への影響について昨年の AHA Scientific Sessions 2020 で発表がございましたのでご報告致します。

方法：

この研究では、18～40 歳の健康な若年成人で、非喫煙群 (N = 23)、紙巻きタバコ喫煙群 (N = 17) と JUUL 使用群 (N = 15) の血管内皮機能と血圧を評価しました。

結果：

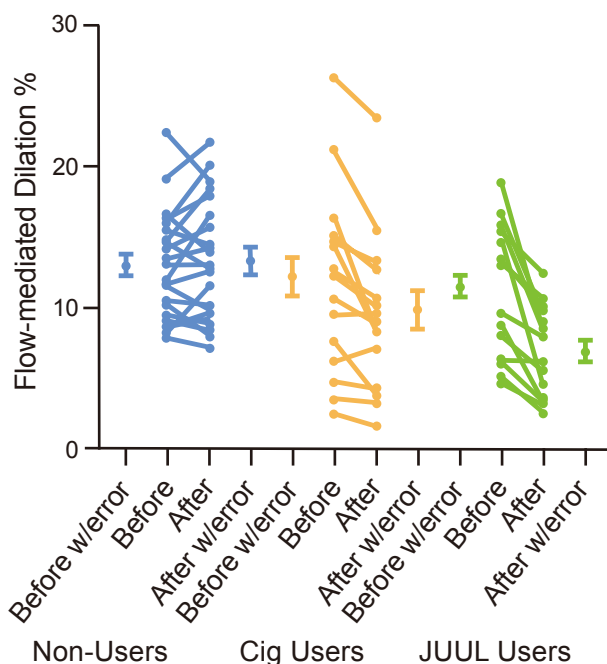
3つのグループ間でベースラインの上腕動脈 FMD に違いはありませんでした。JUUL 使用群と紙巻きタバコ喫煙群は、非使用群と比較して収縮期血圧と拡張期血圧が高かった (P < 0.01)。10 分間の喫煙後、JUUL 使用群は紙巻きタバコ喫煙群と同様 (P = 0.30 vs JUUL) に非喫煙群よりも FMD を減少させました (P < 0.01)。これらの結果は、年齢、人種、性別を調整した後も同様でした。

さらに収縮期血圧も、JUUL 使用群は (6 ± 6 mmHg)、紙巻きタバコ喫煙群 (8 mmHg) と同様 (P = 1.0) に非喫煙群 (0.3 ± 5 mmHg) に対し有意 (P = 0.001) で急激な上昇を引き起こしました。

尿中コチニンおよびニコチンレベルは、紙巻きタバコ喫煙群および JUUL 使用群で高かった (紙巻きタバコ喫煙群 vs 非喫煙群 : P < 0.01、JUUL 使用群 vs 非喫煙群 : P < 0.01)。

結論：

今回の結果は、急性および慢性の JUUL の使用は、より高血圧と関連し、紙巻きタバコと同様に急激な血管内皮機能の低下と関連していることを示唆しています。JUUL の使用が血管の健康に及ぼす長期的な影響を評価するには、さらなる研究が必要です。



米国では 2018 年 9 月には JUUL は電子タバコ市場で 72% の市場シェアを持っていましたが、米国 FDA の複数の調査により 2020 年 7 月までに市場シェアは 42% に低下しました。JUUL のようにニコチン濃度が高い電子タバコは健康への影響も紙巻きタバコ同様に深刻である可能性があります。もちろん禁煙が一番なのですが・・・